



## 「神様のみこころを知る」

ローマ 12:2  
ホープチャペル所沢

「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」(ローマ12:2、新改訳第3版)

### 序

神のみこころは何か =すなわち= ①何がよいことで、②神に受け入れられ、③完全であるのか+それをわきまえ知るために、④心の一新によって自分を変えることが求められています。

#### 1. 何が良いこと (ローマ 12:9-21、13:8-10)

聖書には神の目から見た「良いこと」が示されていますが、「あなたの隣人をあなた自身のように愛する」ことに要約されます。愛こそが律法を全うするものであり、キリストの教えの根幹です。

#### 2. 神に受け入れられる (ローマ 12:1、使徒 10:35、ローマ 15:16、10:14、17)

神様は私たちに、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物として自分をささげることが求めています。牧師の務めは、信徒を聖霊によって神に受け入れられる供え物とすることです。

#### 3. 完全であるのか (ローマ 13:8-10、詩篇 19:7、ヘブル 1:3)

聖書の教えは完全であり、わきまのない者を賢くします。また、イエス様は神の本質を完全に示しており、そのイエス様の愛の生き方こそが律法を全うする模範となります。

#### 4. 心の一新によって自分を変える

「悔い改め」の語源は「心の向きを変える」という意味です。この世の価値観から離れ、イエス様に向きを変えることで、神様のみこころを知ることができます。

#### 結論 (エペソ 4:13~15、1:5、ヨハネ 13:34)

イエス様は「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」と言われました。つまり、イエス様のように変えられていくことが神様のみこころです。私たちは心を新しくし、神の愛に生きることで、神様に受け入れられ、完全な者へと導かれていくのです。



今週のみことば: ローマ 12:2

20250223hctj